

続
散歩道



新型コロナウイルス感染拡大の第2波
によって、全国の陽性者数は増え続けて
おり、袋井市も例外ではない。ワクチン
や治療薬が開発されるまで、感染の抑止
をしながら、毎日の生活を送ることに
なる。短い夏休みや秋祭りの中止が、健全
な子どもの育成にマイナスの影響を残さ
ないように願っている。

今、リニア中央新幹線の工事が大井川
の水と環境に与える影響を巡って、JR
東海と流域10市町の
意見を代弁する県と
が協議している。袋
井市も、水の大半は
天竜川、太田川に依
存しているが、大井
川右岸からの農業用水の受益面積が7
パーセントあるので、流域市町として参
加している。

リニア計画は、過密ダイヤで走る東海
道新幹線の負担を減らし、地震等の大規
模災害発生後も日本の経済活動の大動脈
として機能すること、日本が誇る最新の
技術力を世界に示す場として登場した。

この事業については、膨大な経費が掛
かることや山間部を通ることによる工事の
難しさなどが懸念されていたが、2014

立ち止まる勇氣

年に国土交通省は、2027年を開通予定
にして認可し、工事が始まった。

静岡県の最北部の南アルプス、大井川
の源流地域をトンネルが通ることについ
て、流域市町の飲用や農業、工業などの
基となる大井川の水の確保、ユネスコエ
コパークに登録されている南アルプスの
環境保全について、県とJR東海との協
議が難航し、予定どおりの開通を望む国
土交通省は、国に有識者会議を設置し、

この場で、問題の解決の
方向を生み出そうとして
現在に至っている。

国の有識者会議で、現
在の最高レベルの技術力
で水の確保と環境の保全
をするようにJR東海に求めることが第
一義であるが、莫大な電力を必要とする
リニア計画は東日本大震災前で、日本中
の原子力発電所が通常運転されていた当
時のものであり、さらに、新型コロナウイルス
の感染拡大によってリモートの会
議が当然になり、大都市集中の弊害が明
らかになっている今、予定の期日の開業
にこだわることなく、立ち止まってもう
一度リニアの在り方や工事の方法につい
て考え直すことも必要だと感じている。

街の写真館

地域やサークルの行事、お気に入りの1枚、お子さんの写真などをお寄せください。
送り先 〒437-8666 袋井市役所企画政策課 ☐ kikaku@city.fukuroi.shizuoka.jp
住所・氏名(ふりがな)・電話番号・タイトル・コメント(50字程度)を書き添えてください。



① 大好き 村松の田んぼ道

お兄ちゃんは自転車、妹は三輪車。時々
ごろんとひと休み。あたたかい地域の皆
さんに見守られて成長しています。

亀井 美琴ちゃん



② スイカ大好き

じいじが作ったスイカとってもおい
しかったね。

辻 晴花ちゃん(左)・風花ちゃん(中)・
大地くん(右)



③ お風呂上がり

お昼寝をしなかったため、お風呂で
寝ちゃった。バスタオルに包まれて
気持ちよさそうだね☆

怜輝くん

